

卓球競技要項

期 日 令和8年7月3日（金）、7月4日（土）、7月5日（日）

会 場 AGF 鈴鹿体育館

住所：三重県鈴鹿市江島台1丁目1-1

電話番号：059-387-6006

開会式 令和8年7月3日（金）16時00分

1. 男子団体の部

チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内、計15名以

内競技規則 現行の日本卓球ルールによる。

競技方法

- (1) 試合はリーグ戦とし、勝敗は日本卓球ルール（2. 10. 4）によるものとする。
- (2) 編成は、1番をダブルス、2番から5番をシングルスとし、3点先取法によりダブルス、シングルスともに11本5ゲームスマッチとする。1同一選手がシングルス、ダブルスに重複して出場してよい。ただし、1番ダブルスに出場する選手は、2番シングルスとしての試合出場はできない。
- (3) オーダーは試合開始10分前を目安とし、本部からコールがあった場合に速やかに提出する。
- (4) 使用球は（公財）日本卓球協会公認 プラスチック球40mm ホワイト（NittakuまたはVICTAS）とする。
- (5) 競技用服装は、次のとおりとする。
 - イ 競技用服装は、日本卓球ルール（2. 2. 2）によるものとする。
 - ロ （公財）日本卓球協会指定のゼッケン、またはこれに準じるものとして上衣の背部に縦18cm、横25cmの白布に姓を上段、校名を下段に漢字で左横書した黒字の標識（ゼッケン）を付けること。
- (6) 競技中ベンチに入ることのできるのは監督、コーチ、マネージャー及び登録選手とする。

表 彰 1位に優勝杯を、1位、2位に賞状を授与する。

そ の 他 優勝校は第61回全国高等専門学校体育大会（第60回全国高等専門学校体育大会卓球競技）への出場権をかけて北陸地区選出校との代表決定戦への参加資格を得る（詳細は5. 代表決定戦に記載）。

2. 男子個人の部出場人員 監督1名、コーチ1名、選手シングルス12名以内、ダブルス2組
以内、計18名以内

競技方法

- (1) トーナメント戦（11本5ゲームスマッチ）とする。
- (2) 競技中ベンチに入ることのできるのは監督又はその代理1名とする。

表彰 シングルス1位から3位までの入賞者並びにダブルス1位から3位までの入賞者に賞状を授与する。

その他 シングルス1位、ダブルス1位は第61回全国高等専門学校体育大会（第60回全国高等専門学校体育大会卓球競技）への出場権を得る。なお、3位決定戦の実施判断は、監督者会議による。

3. 女子団体の部

チーム人員 監督1名、コーチ1名、選手8名以内、計10名以内

技規則 現行の日本卓球ルールによる。

競技方法

- (1) 試合はリーグ戦とし、勝敗は日本卓球ルール（2.10.4）によるものとする。
- (2) 編成は、1番をダブルス、2番から5番をシングルスとし、3点先取法によりダブルス、シングルスともに11本5ゲームスマッチとする。1同一選手がシングルス、ダブルスに重複して出場してよい。ただし、1番ダブルスに出場する選手は、2番シングルスとしての試合出場はできない。
- (3) オーダーは試合開始10分前を目安とし、本部からコールがあった場合に速やかに提出する。
- (4) 使用球は（公財）日本卓球協会公認 プラスチック球40mm ホワイト（NittakuまたはVICTAS）とする。
- (5) 競技用服装は、次のとおりとする。
 - イ 競技用服装は、日本卓球ルール（2.2.2）によるものとする。
 - ロ （公財）日本卓球協会指定のゼッケン、またはこれに準じるものとして、上衣の背部に縦18cm、横25cmの白布に姓を上段、校名を下段に漢字で左横書した黒字の標識（ゼッケン）を付けること。
- (6) 競技中ベンチに入ることのできるのは監督、コーチ及び登録選手とする。
- (7) 団体戦出場選手が3名である場合は、2番のシングルス1を不戦敗とし、3番のシングルス2以下3試合を行うものとする。

表彰 1位に優勝杯を、1位、2位に賞状を授与する。

その他 女子の優勝校は第61回全国高等専門学校体育大会（第60回全国高等専門学校体育大会卓球競技）への出場をかけて、北陸地区選出校との代表決定戦への参加資格を得る（詳細は5. 代表決定戦に記載）。

4. 女子個人の部出場人員 監督1名、コーチ1名、選手シングルス8名以内、ダブルス2組以内、計14名以内

競技方法

- (1) トーナメント戦（11本5ゲームスマッチ）とする。
- (2) 競技中ベンチに入ることができるのは監督又はその代理1名とする。

表彰 シングルス 1 位から 3 位までの入賞者並びにダブルス 1 位から 3 位までの入賞者に賞状を授与する。

5. 代表決定戦

北陸地区優勝校と東海地区優勝校で代表決定戦を実施する。ただし、開催校卒の関係から、男子団体戦並びに女子団体戦の代表決定戦の実施内容は以下の通りとする。

【男子団体戦】

- ①北陸地区優勝校が富山高専（開催校）の場合、北陸地区 2 位校と東海地区優勝校との代表決定戦を実施し、勝利した方を東海北陸地区の代表とする。
- ②北陸地区優勝校が富山高専（開催校）ではない場合、富山高専は開催校として全国大会に出場し、北陸地区優勝校と東海地区優勝校で代表決定戦を実施し、勝利した方を東海北陸地区の代表とする。

【女子団体戦】

- ①北陸地区優勝校が富山高専（開催校）の場合、富山高専と東海地区優勝校で代表決定戦を実施し、富山高専が勝利すれば東海北陸地区代表として全国大会に出場する。
- ②北陸地区優勝校が富山高専（開催校）の場合、富山高専と東海地区優勝校で代表決定戦を実施し、東海地区優勝校が勝利すれば、東海地区優勝校が東海北陸地区代表として出場し、富山高専は開催校卒で全国大会に出場する。
- ③北陸地区優勝校が富山高専（開催校）ではない場合、富山高専は開催校卒として全国大会に出場し、北陸地区優勝校と東海地区優勝校との代表決定戦を実施し、勝利した方を東海北陸地区の代表とする。

6. その他

シングルス 1 位、ダブルス 1 位は、第 61 回全国高等専門学校体育大会（第 60 回全国高等専門学校体育大会卓球競技）への出場権を得る。なお、3 位決定戦の実施判断は、監督者会議による。

競技マナー他

- (1) 施設内は競技用の靴等の上履きを着用し、競技用の靴や上履きで施設外に出ないこと。
- (2) フロアでの動画撮影は、公認審判員がいる試合のみ認める。ただし、リアルタイム配信はしないこと。2 階の応援席からの撮影は、全試合可能とする（リアルタイム配信なし）
- (3) 大会出場者で、ホームページ、報道等に写真・個人名を公表して欲しくない場合は、学校を通して大会事務局に申し出てください。申し出がない場合は、公表します。